

◆学校給食の使用食材放射能検査について

白石市では、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能の影響を計るため学校給食で使用する米穀について、食品放射能測定システムで測定いたします。

下記の食材は、測定結果が国の基準値以下の物でした。

※1 検査機関 白石市

※2 Bq（ベクレル）：放射能の強さを表す単位

※3 「不検出」とは、放射性物質の濃度が検出下限値未満の状態を表し、（）内の検出限界値はその測定
の検出下限値を示します。

【問い合わせ】学校給食センター（電話：0224-25-0685）

単位：Bq/Kg

測定日	食材名	産地	放射性ヨウ素 (ヨウ素131)	放射性セシウム (セシウム137)	放射性セシウム (セシウム134)
H28. 4.11	精米	宮城県	不検出 (検出限界値 5.03)	不検出 (検出限界値 7.85)	不検出 (検出限界値 8.85)
H28. 4.18	精米	宮城県	不検出 (検出限界値 5.12)	不検出 (検出限界値 8.30)	不検出 (検出限界値 9.26)

〔学校給食用パン小麦粉〕

学校給食用パンに使用されている学校給食用小麦粉は、アメリカ産50%、カナダ産30%、宮城県産小麦粉「ゆきちから」20%配合しております。なお、平成27年度産「ゆきちから」は平成27年12月9日から使用しております。

小麦粉「ゆきちから」の残留農薬検査を全農みやぎが行い、放射能検査を製粉業者及び公益財団法人宮城県学校給食会が行っており、国の基準値以下の小麦粉を使用しています。

〔学校給食用米粉パン用米粉〕

米粉パンに使用されている米粉用米は、平成27年4月22日から宮城県産一等米の平成26年産新米「ひとめぼれ」を使用しております。

玄米の納入にあたっては、残留農薬検査と遺伝子検査を全農みやぎが行い、放射能検査を業者が行い、国の基準値以下の玄米を使用しています。配合割合は米粉70%、小麦粉30%です。

〔学校給食用牛乳〕

学校給食用牛乳は、仙南クーラーステーションの生乳を使用しております。また、放射能検査については宮城県学校給食用牛乳供給事業の関係から宮城県が検査しております。

〔学校給食用米飯用玄米〕

米飯に使用されている白石市産玄米は、平成27年度産1等米「ひとめぼれ」を平成27年11月5日から使用しております。

玄米の納入にあたっては、残留農薬検査と遺伝子検査を全農みやぎが行い、放射能検査を業者が行っており、国の暫定規制値以下の玄米を使用しています。なお、平成24年4月1日から国の基準値が改正されたため、精米の放射能検査を必要に応じ行っています。

〔学校給食センターの使用水〕

学校給食センターの水道水は、森合配水池の水を使用しております。また、放射能検査並びに水質検査については宮城県が毎月検査しております。